

みはらし



4階 リハビリガーデン

第1回 院内研究発表大会



令和7年8月16日に当院主催の
第1回院内研究発表大会を開催いたしました。

● 演題一覧

部署	職種	演題名
看護部(外来)	看護師	化学療法を受ける患者との関わり～半構成的面接法を用いた面談を通して～
看護部(ICU)	看護師	ICUにおける胃管・挿管チューブによるMDRPU予防に対する看護師への教育的介入の効果
看護部(4階病棟)	看護師	入退院を繰り返す心不全患者に対して看護介入によりせん妄予防が行えた一事例
看護部(5階病棟)	看護師	不眠を呈する入院患者に対しての睡眠改善のための看護介入
看護部(6階病棟)	看護師	看護職のストーマケア向上に向けた取り組み～ストーマ漏れを回避するために～
看護部(7階病棟)	看護師	大腿骨頸部骨折に対する疼痛コントロールと術後早期離床率の関係
看護部(手術室)	看護師	後頭部褥瘡予防のための枕の選び方～円座とソフトナースとの比較から～
放射線科	放射線技師	放射線防護について
検査科	臨床検査技師	腹部超音波検査における描出画像の精度向上に向けて
薬剤科	薬剤師	簡易懸濁法マニュアル・可否表導入とその評価
臨床工学科	臨床工学技士	電子カルテの機能を利用した臨床工学技士の業務改善
栄養科	栄養士	入院肥満患者のヒアリング調査からみえた これからの栄養管理プロセス
リハビリテーション科	作業療法士	地域高齢者におけるフレイルの現状と健康教室の役割
総務課	事務員	資材課による改革～医療材料費の低減に向けて～
医事課	診療情報管理士	DPC病院で診療報酬を増収するための取り組み
医療連携センター	社会福祉士	生活困窮者の退院支援～生活保護法に着目して～
医局	泌尿器科医	所沢美原総合病院におけるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術の導入と成績

院内各病棟や外来の看護部、リハビリテーション科、検査科、栄養科などの医療技術部、総務課、医事課などの事務部、医局も含めて院内で働く全ての部署の代表職員が演者となり、それぞれ1年間を通して取り組んだ内容を発表いたしました。患者さまに「良い医療を提供するには…」「良い病院を目指すには…」を日々考えながら取り組んだ内容を研究演題として準備・発表し、職員全員で共有いたしました。当院では、今後もこのような研究発表の取り組みを続け、日々切磋琢磨し、より良い病院を目指していききたいと思います。

銀賞受賞 演題名 「化学療法を受ける患者の苦悩と希望 ～寄り添う看護がもたらした変化～」



外来看護師

治療を受けながら不安や辛さを抱えている患者さまに、私たち看護師がどう寄り添い、どんな関わりが安心に繋がるかを考えました。普段のちょっとした声かけや、表情、話をじっくり聞くことなど、一つ一つの関わりが患者さまにとって大切な時間であることを改めて感じることができました。初めての研究発表でとても緊張しましたが、このように評価していただいたことを嬉しく思います。これからも患者さまに寄り添った温かい看護を心がけていきたいです。

銅賞受賞 演題名 「生活困窮者の退院支援 ～生活保護法に着目して～」



社会福祉士

当院は「断らない救急医療」の志の元、日々多くの患者さまを受け入れております。同時にそれは多種多様な患者さまが増えることと同義であり、生活困窮者の増加はより顕著です。医療連携センターでは、あらゆる制度、知識を駆使して相談に応じておりますが、個人の力には限界があります。今回は、多職種の協働により、生活保護受給、施設入所が可能となった患者さまの症例を発表いたしました。普段の業務が患者さまの生活支援につながっていること、社会福祉士の役割を院内に発信する機会になったと思います。

第23回

関東KG 学術大会の 報告



金賞受賞

医事課

演題名 「DPC病院で診療報酬を増収するための取り組み」

所沢美原総合病院が開院したことで救急医療がより活発になったことで救急医療管理加算を多く算定することができ、医療機関別係数が上がり診療報酬の増収に繋がりました。日々の救急医療に携わる医師、看護師の協力を頂けたことが結果に繋がったと思います。



医事課 診療情報管理士

今後も地域医療に貢献できる取り組みを行いつつ
様々なことに挑戦し、業務改善に努めてまいります。



▲ 金賞受賞の様子



▲ 所沢美原総合病院 学術大会参加者一同で記念撮影

第2回 医療連携会の報告

所沢市民文化センターミューズにて、
第2回 医療連携会が開催されました。

令和7年9月30日に開催された医療連携会では、昨年度を上回る大変多くの医療機関の方々にご参加いただきました。

第一部では、放射線治療センター長の加藤医師により「当院の放射線治療について」の講演を行いました。その講演では、当院で7月より稼働開始したリニアックによる放射線治療についての説明から始まり、放射線治療開始後2カ月の経過報告をさせていただきました。現在までのところ、所沢市および狭山市を中心に多くの医療機関から治療を依頼されています。紹介元の医療機関との協同で、根治的な治療および緩和的放射線治療を行っています。今後も埼玉県西部地域のがん医療の向上に貢献していきたいと思います。

続いて、副院長兼脳神経外科主任部長の大井川医師による講演「脳卒中治療の最前線」を行いました。今回の報告では、右内頸動脈閉塞症に対し機械的血栓回収療法を行い元気に退院された症例や未破裂動脈瘤の手術動画を共有いたしました。当院の脳外科は「地域の身近な脳外科」を目指しております。

第二部では、近隣地域の医療従事者との懇親会が開かれ、親睦を深めると共に、活発な意見交換を行う事ができました。これからも地域の医療機関と連携を取り合い、救急病院としての役割を果たしていけるように、職員一同、日々精進してまいりたいと思います。



▲ 会場の様子



▲ 加藤医師による講演



▲ 大井川医師による講演



▲ 懇親会の様子



院内 BLS 講習

BLS で、
あなたも命をつなぐ人に

当院では年に1度全職員を対象としたBLS講習を実施しています。急性期病院として断らない医療を提供している中で急変は常に隣り合わせにあります。そこで看護師だけでなくリハビリ、臨床工学技士、レントゲン技師、事務など全ての職種に講習を行っています。

全てのスタッフが急変時に自信を持って命をつなぐ人になれるような講習を提供していければと考えています。

救急救命士



院内急変には、入院中、通院時、お見舞いに来られている家族、院内スタッフ…誰にでも起こりえます。「なんかおかしい、誰かが倒れている」そんな場面に出くわした時「自分ができること」をBLS講習で学ぶ事は病院に勤務するスタッフにとって非常に貴重なことです。講師をしたER看護師、ELTは急変対応のスペシャリストです。講習の時に限らず、臨床現場の職員が、もっと学びたい聞いてみたいと思った時に、その都度、指導・対応できる関係を目指していきます。

救急科 医師

今日から活かせる知識を

生体情報モニター勉強会

生体情報モニターのアラームが鳴っていたら、誰もが注意を向け、患者さまの様子を確認することが必要ですが、モニター対応に自信がない職員も多くいました。異常時に早期に対応できる力を身につけたいと考え、臨床工学技士と協力してモニターラウンドや勉強会の開催を始めました。患者さまが安心して当院での治療を受けられるように、このような勉強会を繰り返し行い、専門的な知識と技術の習熟を目指していきたいと思います。

医療安全専従看護師

生体情報モニターは患者さまの状態変化をいち早く捉える重要な機器ですが、設定の誤りや装着ミスなどによりアラームの見逃しなどの事故事例が全国的にも報告されています。本勉強会では臨床工学技士が講師となり、臨床現場で使用しているモニターの基礎知識から正確な測定値の読み取り方、アラーム対応のポイントなど実践的な内容を実機を用いながら説明しました。

また、看護師以外の医療従事者からも勉強会に参加したいという声があり、全スタッフ対象の勉強会に拡大しております。

医療安全と質の高いケアを支えるためには、モニターの正しい理解と活用が欠かせません。今後もこうした機会を通じて、チーム医療の一助となるよう努めてまいります。

臨床工学技科 係長



レケンビ外来の概要

アルツハイマー病新薬である「レケンビ(レカネマブ)」はアルツハイマー病による軽度認知障害(MCI)あるいは軽度認知症の患者さまに限り使用できる薬剤です。アルツハイマー型認知症は、脳内にアミロイドβというタンパク質が蓄積することが原因の一つと考えられています。当院では、このアミロイドβを標的とする新しい治療薬(抗アミロイドβ抗体薬)を適切に使用するための専門外来を設けています。脳神経外科専門医が診断・画像検査・治療適応の評価を行い、患者さまとご家族に最適な治療方針を提案いたします。治療開始後も定期的に経過を確認し、副作用や効果を丁寧にフォローアップします。認知症の進行抑制を目指し、安心して治療を受けていただける体制を整えています。

当院専門外来の受診を希望される方は、近隣クリニックにてスクリーニング検査を受けたのちにご予約ください。

スクリーニング検査には、当院のホームページでご用意した「レカネマブ紹介事前チェックシート」をご使用ください。



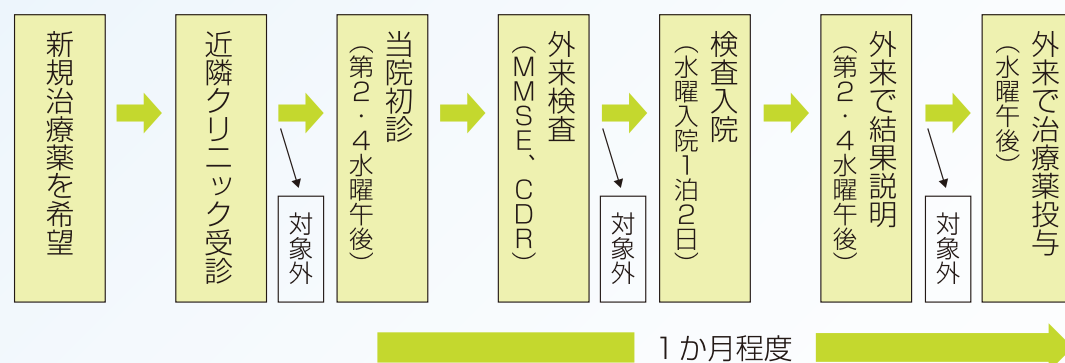
2024年10月より、当院で新規アルツハイマー病治療薬が投与可能となりました。今回はレケンビ外来について紹介をさせていただきます。

レケンビ外来の紹介 (一般名：レカネマブ)

認知症とは

認知症とは、記憶力や判断力などの認知機能が低下し、日常生活に支障をきたす状態のことを言います。その前段階にあたるのがMCI(軽度認知障害)です。MCIの段階では「少し物忘れが増えたかな」と感じる程度で、まだ生活には支障がないのが特徴です。

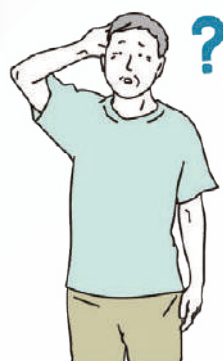
レケンビ外来の流れ



※新規治療薬をご希望の方はかかりつけの先生にご相談ください。

対象者

- ① 認知機能障害の程度が軽いこと(MCI:軽度認知機能障害)
 - ・臨床的認知症尺度 (Clinical Dementia Rating: CDR)スコアが0.5～1
 - ・CDRの記憶スコアが0.5以上
 - ・MMSE (Mini Mental State Examination)スコアが22～30
- ② 脳内に出血性病変が無い、又は少ないこと
- ③ アルツハイマー病の原因物質アミロイドβが脳内に蓄積していること



所沢美原総合病院主催

7月から9月の健康教室報告

当院主催の健康教室は、医師のみではなく多職種の医療スタッフも発表者となり、それぞれの専門分野について講義をさせていただいています。参加費無料、ご予約も不要ですので、今後もお気軽にご参加いただけたら幸いです。

開催時間	15:00～16:00	開催場所	新所沢東公民館まちづくりセンター
日付	職種	内容	
7月15日	作業療法士	リウマチ	
7月23日	整形外科医	転倒、骨折について	
8月7日	看護師	夏の感染症	
8月15日	放射線技師	レントゲンのウラ側、見せます! ～放射線技師のしごとと画像の話～	
8月19日	消化器外科医	がん検診について	
8月27日	脳神経外科医	脳出血について	
9月2日	看護師	かかりつけ医を持ちましょう	
9月12日	作業療法士	加齢に伴う衰えとの向き合い方 ～フレイルって知っていますか?～	
9月19日	理学療法士	毎日の動きを楽しむ呼吸筋ケア	
9月26日	理学療法士	解決します!! 肩こり・腰痛	

行事食の紹介

当院の病院食では、その季節に合わせて月に1～2回ほどの頻度で行事食を提供しています。

今までご提供した行事食は患者さまからも大変で好評いただいております。今後も入院中の患者さまに、お食事を通して季節や旬を感じていただけるよう工夫を凝らし、喜んでいただけるよう努めてまいります。

「冷やし中華」
(6月17日ご提供)



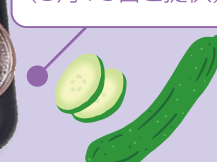
「七夕そうめんと
天ぷらの盛り合わせ」
(7月7日ご提供)



「土用丑の日の
うなぎちらし」
(7月31日ご提供)



「冷や汁うどん」
(8月19日ご提供)



ホームページのご案内

病院の内容は、ホームページでご覧いただけます。
ぜひご参照くださいませ。
グループ病院へのホームページにもリンクできます。

所沢美原総合病院



<https://tmgh.jp/>



私たちと一緒に働きませんか？

募集職種

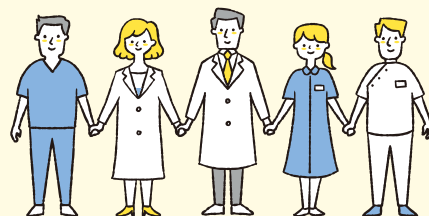
- 医師 ● 看護師 ● 介護福祉士 ● 看護補助者 ● 理学療法士 ● 作業療法士
- 言語聴覚士 ● 臨床検査技師 ● 放射線技師 ● 臨床工学技士 ● 薬剤師
- 管理栄養士 ● 救急救命士 ● 社会福祉士 ● 事務職員

詳しくはホームページをご覧ください。

お問合せ

TEL: 04-2997-8199 (代表) 総務課採用担当まで

医療スタッフ
募集中



所沢美原総合病院 広報誌

Vol. 7

みはらし

令和7年11月発行



社会医療法人社団 埼玉巨樹の会

所沢美原総合病院

〒359-0045 埼玉県所沢市美原町2丁目2934-3

<https://tmgh.jp/>

TEL 04-2997-8199

FAX 04-2997-8196



電車ご利用の場合 西武新宿線「新所沢駅」東口下車 徒歩8分

バスご利用の場合 新所沢駅東口 西武バス乗車
「所沢市民体育館」バス停下車 目の前

タクシーご利用の場合 西武新宿線「新所沢駅」東口より約5分